

平成 27 年度

# 年 報

—博物館はこんなことをやりました—



AZUMINO CITY TOYOSHINA LOCAL MUSEUM

安曇野市豊科郷土博物館



# 目次

## I ようこそ安曇野市豊科郷土博物館へ 博物館の概要 1

- 1 開館からの略歴
- 2 当館の目指すところ
- 3 平成 27 年度・活動方針

## II 博物館内部はこうなっています 運営体制 2

- 1 博物館職員の紹介
- 2 館内の施設
- 3 平成 27 年度予算

## III 1 年間こんな取り組みをしました 主な活動実績 3

- 1 入館者数と内訳
- 2 企画した展覧会
- 3 実施した講座・講演・説明会
- 4 寄せられたご相談等への対応
- 5 市民とつくる、友の会活動
- 6 学芸員実習など
- 7 館内外活動への取材と広報

## IV 所蔵資料をできる限り活用しています 資料の管理と活用体制 9

- 1 収蔵資料数と主な内容
- 2 所蔵資料を活用している具体例

## V 調査研究や展覧会企画について 方向性を持った学芸活動 10

- 1 新市立博物館構想に向けた取り組み
- 2 安曇野の自然・歴史・民俗の調査研究

## VI 近隣の博物館・資料センターと連携します 他施設との連携協力体制 11

- 1 旧資料館収蔵資料等の有効活用
- 2 提携博物館等との具体的協力

## VII 当館に寄せられたみなさまのお言葉 利活用者の意見からみる外部評価 12

- 1 展示室の『感想ノート』に寄せられた声

## VIII 博物館のこれから 目標とみなさまへのメッセージ 13

## 1 開館からの略歴

昭和54年 4月	多くの文化遺産の継承を使命とする生涯学習の場として豊科郷土博物館が開館しました。翌年、登録博物館になりました。以来、収蔵している自然・歴史・民俗・芸術等の資料を収蔵展示するとともに、各種企画展示を開催してきました。友の会を核とした活動も活発に続いています。
平成17年10月	5町村の合併により安曇野市が誕生しました。当館は財団法人による指定管理のもと、市唯一の博物館としての活動を継続してきました。
平成24年 4月	安曇野市の直営施設となり、市の主要文化施設として文化の発信と地域に根付いた活動を行い現在に至っています。平成25年度、屋根とトイレを改修し常設展示を替えて、26年3月にリニューアルオープンしました。
平成27年11月	安曇野市新市立博物館構想策定委員会で検討策定された新市立博物館構想が安曇野市長への提言として示されました。新規建設される市立博物館の基本的内容が明示され、それを受けた市は15～20年後の新博物館開設を発表しました。

## 2 当館の目指すところ

郷土安曇野の自然・歴史・民俗を対象に庶民の生活とのかかわりに寄せて調査研究し、収集・収蔵した資料と研究成果を展示することで、心の豊かさを求め新たな文化創造に向けその土壌作りを目指しています。併せて、活動する博物館として生涯学習の場を提供し推進することも大切な目標とします。

## 3 平成27年度・活動方針

安曇野市の中核的博物館として、新市立博物館構想の方向と連携を保ちながら、以下の3点を重点目標に運営してきました。

- ◆ **博物館施設等との連携や交流を活発にして博物館活動の幅を広げ充実させます。**  
県内で初めての試みとなった長野県立歴史館企画展示『長野県の遺跡発掘2015（速報展）』の巡回展示の実現、松本市・塩尻市・大町市の博物館との資料展示協力や相互訪問見学会の実施を通して、市町村の枠を越える充実した博物館活動に取り組みました。
- ◆ **旧資料館や資料センターと連携して学芸活動の体制を強化していきます。**  
貞享義民記念館を含め各資料館や文化財資料センターと力を合わせ、企画展示や子ども体験教室などに収蔵している資料の展示等活用を多くし魅力的な学習会の実現に努めました。収蔵資料の調査研究や保管環境の検討改善にも取り組みましたが不十分な部分が残っています。
- ◆ **市民のみなさまや友の会員との協働により調査研究活動の活性化を進めます。**  
引き続き安曇野市商工会との緊密な連携のもとに企画展が実現し、友の会との共催による明科廃寺の連続講座が積み重ねられました。より必要度の高い調査研究活動としての、第2次世界大戦の体験聞き取りや関連資料の収集を、友の会の部会を新設し協力して進める体制が整いました。



友の会と協働で行っためかくどでの炊き出し



戦争体験聞き取り(友の会戦時生活部立ち上げ準備)

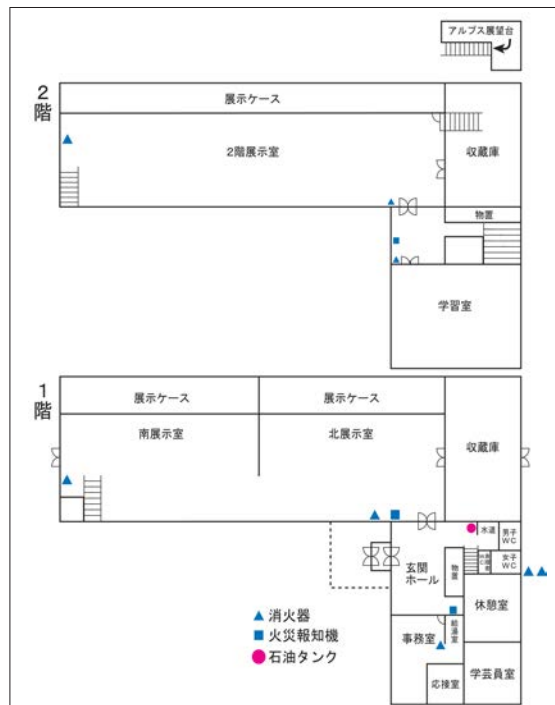


### 1 博物館職員の紹介

館長	百瀬 新治	博物館を総括し、運営全体をみています。学芸員と同様に、展示の企画や作業に加わり講座や学習も行っていきます。
学芸員	逸見 大悟	旧資料館や義民館等の管理、新博物館構想の事務局を担当します。常設展示替えの企画と実施、予算や提出文書作成を担当しています。
学芸員	宮本 尚子	展覧会や館内環境整備を担当し展示や掲示を進めています。主に民俗等を研究調査し、収蔵資料等の受け入れや管理等を進めています。
学芸員	矢口 友美	館内施設や展示品の保守点検を担当し、友の会活動の支援を行なっています。主に歴史等を研究し、美術館博物館連携事業等を担当しています。
事務員	瀧澤 明子	外部との文書の作成や館の収支計算を担当しています。窓口でお客様の案内や入館者の対応をしています。
事務員	宮澤紀美子	窓口でお客様の案内や対応をしています。展示の実務的な作業や解説文の作成をサポートしています。
事務員	浅川君江	窓口でお客様の案内や対応をしています。文書作成や博物館資料整理管理のサポートをしています。

### 2 館内の施設

- 敷地面積2,016㎡
- 建物（鉄筋コンクリート造2階建）面積747㎡（延床面積1,020㎡）
- 平面図



### 3 平成27年度予算

総額 約24,702千円

本年度は企画展解説パネル等制作費・研究紀要等刊行物印刷費・施設修繕費・機器リース料・電気代等光熱費・人件費等に使われています。



## 1 入館者数と内訳

入館利用者総数	10,016人	(平成26年度数8,118人	対前年度比率	123%)
有料入館者数	1,521人	(平成26年度数1,553人	対前年度比率	93%)
児童生徒入館者数	2,195人	(平成26年度数1,113人	対前年度比率	197%)

## 2 企画した展覧会

### ①第31回「白鳥写真展」

4月4日(土)～5月24日(日) 開館日数44日  
 安曇野に飛来した白鳥の写真を公募し展示しました。  
 出品58人108点 入館者数942人 1日平均21.4人



① 第31回白鳥写真展

### ②「興味津々安曇野 FOOD」

平成27年度夏季企画展・市制施行10周年記念企画展  
 6月27日(土)～8月30日(日) 開館日数55日  
 これまで受け継がれてきた安曇野の特徴的な食文化について、江戸時代からの経緯や現代の食生活、市内飲食産業の現況など、様々な角度から紹介展示しました。  
 入館者数1,645人 1日平均29.9人



② 興味津々安曇野 FOOD 展

### ③「速報 長野県の遺跡発掘2015」

(秋季特別展・県立歴史館巡回展)  
 「金印・卑弥呼の時代のお宝 松本平におけるいのり・まつり」(協賛展示)  
 9月19日(土)～10月18日(日) 開館日数27日  
 県内における最新の埋蔵文化財調査の成果を、県立歴史館での展示を巡回する形式で実施しました。市内や松本平の重要な遺物の協賛展示も同時に開催されました。  
 入館者数1,596人 1日平均59.1人



③ 「金印・卑弥呼の時代のお宝 松本平におけるいのり・まつり」(協賛展示)

### ④「安曇野市版 レッドデータブック展」(特別展)

3月12日(土)～4月10日(日) 開催日数26日  
 絶滅のおそれのある野生成物のうち、安曇野の草原で見られる貴重な昆虫類を中心に、悪化している生育環境等危機的な状況を展示紹介しました。  
 入館者数763人 1日平均29.3人



④ レッドデータブック展



### 3 実施した講座・講演・説明会

#### 1 博物館講座

##### ①「縄文土器を作ろう！」体験講座

6月6日（土） 参加人数15人

10月4日（日） 焼成参加人数13人

縄文土器を実際に作り、縄文文化に触れる体験をしました。



① 縄文土器をつくろう！

##### ②「中房温泉タイムトラベラーひと・温泉・微生物」 現地学習

7月11日（土） 参加人数20人

国の天然記念物や登録有形文化財がある中房温泉周辺を現地踏査しました。



② 中房温泉現地学習

##### ③「昔の暮らしを体験しよう！」体験講座

11月7日（土） 参加人数24人

国の重要文化財「曾根原家住宅」を会場に、戦争体験を聞いたり、大麦の虫かごづくりやいろいろ生活の体験をしました。



③ 昔の暮らしを体験しよう！講座

##### ④「押絵の干支をつくってみよう～申年編～」 体験講座

11月28日（土） 参加人数20人

恒例になっている干支の押絵づくりに親子で挑戦しました。

##### ⑤「安曇野歴史散歩 さらに明らかになった明科廃寺」 講座

2月21日（日） 参加人数51人

本年度実施の調査成果の発表を中心に明科廃寺関連の講演会を継続実施しました。



⑤ 安曇野歴史散歩 明科廃寺講座

##### ⑥「こたつを囲む博物館講座」連続講座

第1回 2月13日（土）～第4回 3月5日（土）

毎土曜日総計4回 参加延べ人数159人

各学芸員が調査研究したことから講演内容を定め、参加定員を少人数にすることで、講師が直接呼びかけ、質疑応答ができる形式で話を聞く会を重ねました。



## 2 平成27年度夏季企画展・市制施行10周年記念企画展「興味津々安曇野 FOOD」関連イベント



① オープニング『結いソバ』ふるまい



② 安曇野の食文化についての講演



⑥ 味も楽しみながらお菓子屋さんの話を聞く夏のお年玉



⑦ 再現料理見学会

### ① オープニングイベント

6月27日(土) 参加人数216人

「石巻と安曇野を食で結ぶ」

市飲食部会の東日本大震災支援食『結いソバ』を振るまい、災害時の食と支援を見返しました。

### ② 記念講演会

「安曇野の食文化一年中行事からみるその特色」

7月4日(土) 参加人数73人

民俗学研究者の倉石あつ子氏に、安曇野の食事・食習慣の特色を年中行事に関わる食を例に話していただきました。

### ③ 講座「食文化最前線」・ギャラリートーク

7月20日(月・祝) 参加人数31人

担当学芸員2名により、展示に際する調査の発表と展示説明を実施しました。

### ④ 伝統食を楽しむー昭和30年代の新盆ー

8月1日(土) 参加人数20人

昭和30年代の盆行事に伴う料理を手作りし伝統的行事食を再現し楽しみました。

### ⑤ 「我が店の一押し」食関係体験講座

8月9日(日) 参加人数27人

食産業や飲食店で直接安曇野らしい食品を製作提供している方から、味へのこだわりや現場ならではの体験談を話していただきました。

### ⑥ 「夏のお年玉」食味体験講座

8月13日(木) 参加人数46人

安曇野で親しまれているお菓子や甘味について、店主の方から味の特徴や製造の苦労を直接聞きながら、実際のお菓子を賞味しました。

### ⑦ 「貞姫御膳の実際に触れる」再現料理見学会

5月12日(火) (限定参加者12人)

文献に基づき、松本藩貞姫の饗応膳を市調理師会の協力で再現して、実物を見ながら製作法等を紹介しました。



### 3 平成27年度秋季特別展・県立歴史館巡回展「速報 長野県の遺跡発掘2015」関連企画



② 「信州の弥生文化と西日本」講演会



③ 遺跡報告会で実物を前に解説を聞く



⑤ 松本市の遺跡をたずねて（現地見学会）

#### ①協賛展示「金印・卑弥呼の時代のお宝 松本平におけるいのり・まつり」

松本平における弥生時代の遺物から、県宝等特に重要な資料を近隣博物館等の協力を得て展示紹介いたしました。

#### ②記念講演会「信州の弥生文化と西日本」

9月20日（日）参加人数124人  
協賛展示に合わせ、県内出土の弥生時代遺物を通し西日本の影響を講演していただきました。

#### ③遺跡報告会「松本市と安曇野市の遺跡から」

10月3日（土）参加人数69人  
近年の発掘調査で注目された成果について、調査担当者から報告説明を受けました。

#### ④歴史館連携講座「明科に貴族がやってきた」

10月10日（土）参加人数69人  
長野県立歴史館から講師を迎え、古代のお墓に副葬された品物から、地方役人の実体を学びました。



#### ⑤現地見学会「お隣の弥生時代遺跡や遺物」

10月17日（土）参加人数35人  
協賛展示に合わせ、県内出土の弥生時代遺物を通し西日本の影響を講演していただきました。

### 4 平成27年度特別展「安曇野市版 レッドデータブック展」関連イベント



② 「生き物たちの未来を考える」ディスカッション

#### ①自然観察会「犀川の野鳥と生活の姿」

3月26日（土）参加人数14人  
野鳥を通して生態環境を観察し、安曇野の自然を現地で学びました。

#### ②事例報告会「生き物たちの未来を考える」

3月26日（土）参加人数34人  
レッドデータブックに触れながら、希少種の保全事例を発表し、将来の安曇野の自然について意見交換をしました。





## 5 出前講座



② 穂高西小学校「地域学習」学習支援



③ デイサービス訪問講座

### ① 「昔の暮らし体験教室」

市内全小学校3年生849人参加  
暮らしの道具等を多く持参し、実際に使う体験を通して一昔前の生活を楽しみながら学びました。

### ② 「小中学校への出前教室」

出前授業 市内小中8回 児童501人参加  
要請に応じ、教科学習や現地見学等の授業を実施しました。

### ③ 「昔なつかしい道具で楽しむ」

デイサービス訪問講座

11月～3月(全6回) 延べ参加人数187人  
博物館収蔵の生活用品を使い、お年寄りに楽しんでいただきながら回想法による治療効果を試みました。

### ④ 「各種講演・出前講座(他団体、他博物館等)」

地域の歴史学習、他団体への講演会等  
総計8回 574人参加  
要望に応じて学芸員中心に調査研究の報告や博物館活動紹介等の取り組みに力を注ぎました。

## 4 寄せられたご相談等への対応

博物館事業に関する質問等や市内の文物に対して数多くのレファレンス(問い合わせ)や調査相談がありました。学芸員が分担してさらに調査等をして記録に残しているもので総計86件を数えますが、電話や展示資料等の簡易的な問い合わせはその数倍という数になります。

歴史資料や文化財に関する所在地や云われから疑問点とその究明方法等を問い合わせる質問が高い割合を占め、博物館での展示内容や刊行物の説明等への不明点やご意見も比較的多くありました。自分が住む地域の行事あるいはご自身が所有している文物の意味や価値をたずねる例や、今後の保護策及び寄贈等活用策を相談する例も目立ちました。

展示内容等に関しての不明点等博物館の調査研究に直接触れてのレファレンスについては、館内さらに教育委員会で情報を共有し今後役に立てることのできる方策を講じています。

## 5 市民とつくる、友の会活動

### ① 部会と会員数 ( )内は人数

絵手紙(24) 押絵(5) 郷土史(28) サクラソウ部(9) 山草(22) 刺しゅう部(4) 自然部(98)  
写真部(9) 植物画部(22) 書道部(24) 水墨画(4) その他(1) 総計 11部250人

### ② 講座・学習会等の活動

各部で毎月1～2回の講座を催したり、自然探訪会や現地見学会を実施しています。友の会全体で142回の講座・学習会が開催され、7回の館外研修がありました。

### ③ 展覧会の実施

全6回の展覧会が催されました。各部が合同で開催する総合芸術展を含めて、総計3534人の観覧者がありました。



友の会が年3回実施する美化活動



#### ④ 全体活動

- ・視察研修 愛知県瀬戸市方面 参加人数42人
- ・美化活動 年3回実施 参加者総数81人
- ・会報発行 年3回
- ・博物館との協働によるぬかくどの炊き出し 参加人数21人

自主的研修活動とボランティアによる環境整備を大切に考え、役員中心に構想から実施まで行っています。

## 6 学芸員実習など

本年度の当館での学芸員実習の希望は2名でした。

博物館業務を具体的に実践することを通しての実技体験を重視した各種研修を実施してきました。また、各自の企画による教育普及講座や、ミニ企画展に取り組むことで、自ら調査研究して展示等に結び付ける創造性に触れての研修を行いました。



学芸員実習（資料の梱包を学ぶ）

## 7 館内外活動への取材と広報

展覧会情報と展示物の紹介、さらに体験講座や記念講演などの活動を各報道機関に周知しました。本年は昨年引き続き、市商工会との提携で実施した企画展で協力いただいた飲食店へのチラシやポスター配布等で今までなかった客層へのPRができました。

安曇野市制施行10周年記念企画展「興味津々安曇野 FOOD」では、貞姫御膳の再現等、マスコミに度々取り上げられ、関連記事を含め12回の掲載がありました。他の展示やイベントを含め広報活動は一段と活発になっています。

また、昨年度、館公式ホームページを開設したことで、館から直接情報発信できる機会が増えました。これまでの博物館活動の周知や、これからの活動の予告など、さまざまなシーンでホームページを活用していただけるよう、ホームページの更新を頻繁に行えるようにしていきます。

安曇野市 豊科郷土博物館  
〒399-8205 長野県安曇野市豊科4289-8  
開館時間9:00~17:00 (入館16:30まで)  
休館日 月曜日(祝祭日の翌日、年末年始)

HOME 常設展案内 博物館紹介 キッズページ 公式ブログ  
博物館へ行く!

常設展のご案内  
稲穂ゆれるふるさとへ

お知らせ  
秋の七草~千年の時を超えて~ コンパクト展示のご案内 (2016年9月7日)  
貞享義民記念館 9月の企画展 (2016年9月3日)  
長野県立歴史館巡回展「長野県の遺跡発掘2016」協賛展講演会参加者募集 (2016年8月16日)  
新しい刊行物のご案内 (2016年6月14日)

博物館へのアクセス  
イベント情報

博物館公式ホームページ (<http://azuminohaku.jp/>)



## 1 収蔵資料数と主な内容

平成27年4月1日現在の収蔵品数と主な収蔵品名は以下のとおりです。

■歴史資料	約13,000点	豊科町関係旧村文書・藤森桂谷文庫・小穴亀一文庫・旧吉野小学校教科書・南穂高村消防組資料・豊科町誌関係資料
■民俗資料	約1,700点	農耕・養蚕・漁労関係資料・衣食住関係資料
■美術資料	約300点	小林章・藤森桂谷・井口香山・小川大系
■自然資料	約5,300点	動物剥製・昆虫標本・化石標本
■蔵書その他	約7,000点	

収蔵品総点数 約27,300点

## 2 所蔵資料を活用している具体例

- 1階展示室の常設展示や館内各所でのコーナー展示として、各資料館等の収蔵資料を含め可能な限り多くを展示しました。
- 資料センター収蔵資料を含め、企画展に関連させる形で資料を位置付け展示したり、各種刊行物に掲載していく等工夫して活用しました。
- 体験講座や出前授業において民具等の実物に触れる機会を積極的に増やすため、使用方法や補修等に留意しつつ館外活用も活発に行いました。



懐かしい民具で回想法を行う(デイサービス施設等)



昆虫標本を使った R・D・B 展の展示準備  
レッドデータブック



常設展の民家を使った正月と小正月の展示



博物館資料を使った学芸員実習



## 1 新市立博物館構想に向けた取り組み

- 常設展示のリニューアルを経て2年、新市立博物館建設構想が具体的に進められる中で、さらに市内全体を網羅した調査研究の充実と魅力的な展示の実現を通し、より親しみやすく利用しやすい博物館を目指して一歩でも改善できるよう取り組んできました。したがって、新博物館構想での基本的な方向を大事に受け止め、前倒しをする形でその具体化を図る改善と進めた一面でもあった以下の活動です。
- 閉館となっている明科・三郷・堀金の歴史民俗資料館と安曇野市文化財資料センターに保管収蔵されている資料について、博物館の各種展示資料・体験講座の使用道具などとしてできる限り活用しました。具体例の一つは、特別企画のレッドデータブック展に、堀金資料館収蔵の昆虫等標本類を主要な展示資料として活用したことです。
- 恒例のようになりつつある市内全小学校3年生を対象とした体験教室は、今年も1月末から2月上旬に集中して実施できました。穂高郷土資料館関係のみなさん中心に指導者チームが、当日の運営はじめ資料準備から修繕等一貫して関わっていただいています。さらに縄文土器づくり等他の講座に主体的に加わり、今後の『市民との協働による博物館活動』に結び付けたいと考えます。
- 安曇野市制施行10周年記念企画展「興味津々 安曇野FOOD」では、安曇野に残されている地域食・伝統食について、江戸時代から現代までの食文化の実際に焦点を当てて展示しました。江戸時代からの農家の食生活について、松本藩貞姫の饗応膳の復元や婚礼の食の内容で示し、正月の雑煮を各家庭へのアンケートで明らかにしました。安曇野市商工会より協力をいただき、現代の食産業の実際の姿で見ていただきました。
- 秋季特別展は長野県立歴史館の企画展を巡回しての「速報 長野県の遺跡発掘2015」と、協賛展示「金印・卑弥呼の時代のお宝」で実施しました。新しい試みとなった他館との提携による展覧会の開催として、県下各地における埋蔵文化財調査の最新成果を出土資料で具体的に紹介しました。合わせて、松本平の弥生時代について主要な遺物から学び楽しんでいただけるようにしました。
- 冬期間の特別企画展示として「安曇野版 レッドデータブック展」を実施し、旧堀金資料館の収蔵資料を活用する取り組みを進めました。閉鎖した施設にある寄贈いただいた資料として、すでに絶滅した昆虫等貴重な標本を見ていただける機会を設けました。

## 2 安曇野の自然・歴史・民俗の調査研究

- 学芸員を中心とする現地調査や聞き取りについては、見通しや継続性のある取り組みが難しい状況になっていますが、戦争関係の資料調査等について市民のみなさんとの協働による活動に手を付けています。
- 学芸員各自で調査等を進めている内容を公開する「こたつを囲む博物館講座」を昨年引き続き企画実施しました。4回の講座で約160名と予定を上回る参加があり、質問等活発なやりとりのある調査等発表会が実現しました。
- 近隣市町村博物館との連携による新たな活動の展開という課題について、松本市立博物館提唱の『松本藩領博物館構想』を受け、連携の方向について講座で提起し討論に加わる等で積極的に参画しました。展示物や博物館見学で相互協力が具体化しています。



豊里で行った戦争体験の聞き取り調査



## 1 旧資料館収蔵資料等の有効活用

- ①前述した「レッドデータブック展」を代表に、閉館等により展示等で常時活用できていない収蔵資料について、企画展等の展示に向けできるだけ積極的に活用してきました。見学等の対応を含め、旧来の資料館利用に近い対応を考えていますが、現実には難しい状況にあります。
- ②穂高郷土資料館と連携し、市内の全小学校への出前講座がより充実した内容で実現できるよう準備から補修等まで協力を密にして取り組みました。
- ③穂高郷土資料館の学芸的事業とりわけ展示について、より充実した内容になるよう両館職員で協力しています。ただし、資料館の職員体制からは展示替えや展示説明の更新はなかなか実現できずにいます。



穂高郷土資料館職員とともに  
縄文土器作り（野焼き）

## 2 提携博物館等との具体的協力

平成24年度より旧穂高学校給食センターを改修しての資料収集及び整理ならびに調査研究の場として「安曇野市文化財資料センター」が開設されて4年目を迎えています。常に市内の文化財等諸資料を収蔵する拠点としての資料センターに対応し、資料の整理・保存にあたり、博物館等の教育普及活動を支える活動をしています。

前述した県立歴史館との連携事業をはじめ、松本市立博物館、塩尻市平出考古博物館など県内の博物館との提携・協力による館活動を一層活発にしてきました。

本年度新たに実現した県立歴史館巡回展に合わせた協賛展示では、資料センターの調査から明科古殿屋敷遺跡の資料を展示し、調査結果について報告会を設けました。明科廃寺遺跡の発掘調査結果をもとにした講座を協力して実施しました。旧明科町歴史民俗資料館の収蔵資料等については、他の収蔵施設を含めた統一的対応が課題になります。



飯綱町へ出前講演会



県立歴史館連携事業  
「やさしい信濃の歴史」講演会



## 1 展示室の『感想ノート』に寄せられた声

- ・大自然の中での自然体の作品が多く、見事な出来ばえで改めて感動しました。
- ・初めて来ました。何ともかわいい白鳥たち、写真を撮る角度（目線）が素晴らしいですね。思わず吹き出すような題名・ネーミングの付け方に工夫を感じます。
- ・写真をポストカードにして販売するか、できればプレゼントしてください。
- ・宣伝が少ないので、松本市民は知らない人が多いと思います。良い展覧会なので松本市民などもっと多くの人に見てもらいたいと思います。

(以上 白鳥写真展から)

- ・イラストがじょうずでびっくりです。母に勧められて来たのですが、安曇野の食べ物の良さ特徴がよく伝わりました。また来ます！
- ・江戸時代のもてなしの席の料理など、博物館ならではの普段は見られない展示に学習できました。いろいろな家のお雑煮を見て、我が家の雑煮と比較し、一般的だと思っていたのでびっくりしました。他の家の食事を知る機会は少ないので、とても面白く感じました。
- ・展示や説明には説得力がありました。広くスペースがあるので、なお一層の充実した展示を期待します。

(以上 安曇野FOOD展から)

- ・こんなにすごい貴重なものが近くにあるなんて感激です。子どもといっしょに見ることができ、親子共々うれしかったです。
- ・長野県では約15000か所もの遺跡があるという事実に驚かされました。発掘された様々な出土品を学術的に整理・保存・研究されている努力に頭が下がります。貴館の努力に期待いたします。
- ・大昔に実際こんな土器を使って暮らしていた人々がいたんだと感慨深いものがあります。彼らがタイムスリップして現代に来たとしたら…つい想像してしまいます。

(以上 長野県の遺跡発掘2015から)

- ・力作ばかり・・・絵手紙っていいですね。来年も楽しみにしています。
- ・レベルが高く素晴らしい作品に感激です。毎年来させていただいてます。

(友の会 絵手紙展から)

(友の会 ボタニカルアート展から)

- ・堀先生の水墨画を初めてみました。次回も楽しみにしています。
- ・仕事の関係で3カ月だけ安曇野に居ますが、圧倒的な自然の魅力にとりつかれました。が、これだけの動植物が数を減らしているのかと驚きました。このような地道な活動が明るい未来につながることを期待しています。
- ・かつて小学校の担任の先生が、標本を作成していた姿を思い出します。故人となられた当時の先生方も、このように日の目を見た展示に喜んでおられると思います。さらなる公開活用を願います。
- ・素晴らしい企画展で感動しました。自然環境の変化により様々な動植物が絶滅の危機にひんしていることが良くわかりました。昭和6～7年の標本が見事でした。

(以上 レッドデータブック展から)



レッドデータブック展関連イベント  
御宝田で行った野鳥観察会



弘法山古墳より松本市街を望む



安曇野市直営の博物館として再スタートして4年が過ぎようとする時、新市立博物館建設に向けた審議会答申を受け15～20年後の建設を前提に動き始めています。ここまでの博物館での事業内容が問い直される状況ですが、来館されるお客さまにとっていかに快適な博物館であり、魅力や親しみを増していく状況が実現するか、館職員全員で新博物館を意識し少しでも前進しようと努めてきた日々でした。博物館外部から寄せられたお声や数値として記録に残る成果などから、徐々にではありますが確かな手応えを感じ、今後の活動につながる見通しもできつつあります。しかし、その反面まだまだ至らない点や検討課題も明らかになってきています。

いよいよ新博物館の構想から準備が本格化する来年度に向け、市民の博物館としてより親しまれ信頼される博物館を目指してさらに努力しようと改めて強く思っています。改善への取り組みの中で、以下の諸事項を重点に力を注いでいきたいと考えています。

## より親しまれ信頼される博物館を目ざし一歩ずつ前進します

### ★市民のみなさまと提携し協働して活動する親しみやすい博物館に

展示替えの基本コンセプトでもあった、わかりやすい説明や体験できるコーナーをより充実させ市民のみなさまにより身近で親しみやすく利用できるよう取り組んできました。今後さらに一歩進めて、協働して調査等を進める友の会活動及び参加型の展示・講座などを、市民に呼びかける形で設営し具体化していきます。

### ★展示につながる研究調査の蓄積など学芸活動の充実で信頼される博物館に

企画性を重視し種々の展覧会・展示を繰り返し実施することが『売り』の一つであった郷土博物館のこれまででした。それに加え、中長期的見通しのもとテーマを決めだして継続的な取り組みで調査研究を積み重ね、その成果をより充実した展示として実現できるよう基幹博物館としての使命を大事に構想から見直していきます。

### ★他施設との協力連携による幅広く深みのある活動を特色とする博物館に

企画展示に市内企業やその製品の現状を展示紹介し、水と生活をテーマとした常設展示から全国名水サミットで発表したように、博物館外との連携で活動の幅を広げようと模索してきました。それとともに、閉鎖資料館等の貴重な資料を活用し市内各所で出前展示を企画するなどの機会を通し、宝物ともいえる安曇野らしさを幅広くより深みのある内容で提供していきます。

今後とも厳しくも温かく、当博物館とお付き合いくださいますようお願い致します。



市内小学生の展示見学  
(協賛展示「金印・卑弥呼の時代のお宝 松本平におけるいのり・まつり」)





安曇野市制施行10周年記念企画展「興味津々安曇野 FOOD」ギャラリートーク

平成27年度

## 安曇野市豊科郷土博物館

### 安曇野市豊科郷土博物館

〒399-8205 長野県安曇野市豊科4289番地 8  
TEL 0263-72-5672 FAX 0263-72-7772  
公式サイト <http://azuminohaku.jp/>

発行 平成28年8月